

オープンウォータースイミング三重オープン2024尾鷲

■競技について

本競技会は、「(公財)日本水泳連盟オープンウォータースイミング競技規則」(以下「OWS 競技規則」)則り実施する(一部、ローカルルールを適用する)。

■スタート時刻

・6月30日(日)

09:00	500m スタート
09:03	1km スタート
10:45	3km・5km 男子スタート(女子は5分後にスタート)
14:00	リレースタート

■スケジュール概要

・6月29日(土)

10:00~	クリニック 受付開始
10:30~12:30	OWS クリニック開催(講師:藤優実氏)
13:00~	公式練習 受付開始
14:00~15:00	公式練習 終了
17:00~18:00	競技説明会(オンライン Zoom)

・6月30日(日)

6:00	大会可否判断後 OWS 三重オープン尾鷲ホームページ(各種 SNS も含む)に掲載
7:15~	受付開始⇒各種チェック⇒ナンバリング⇒計測用リストバンド配布⇒健康チェックシート提出 (最終受付時間 500m・1km:8:00/3 km・5km:10:00/リレー:13:00)
7:30~ 8:00	公式練習
8:15~	500m・1km 招集(競技説明)
8:30~	開始式(※ビーチクリーンは各自で随時実施)
9:00(予定)	1km
9:03(予定)	500mスタート 【制限タイム】 1km 40分/500m 20分
10:15~	3km・5km 招集(競技説明)
10:45(予定)	3km・5km 男子スタート(女子は5分後にスタートする) 【制限タイム】 5kmトライアル 1時間30分/一般5km 2時間15分 3km 1時間30分
13:30~	リレー招集(競技説明)
14:00(予定)	リレースタート 【制限タイム】 1時間
15:00(予定)	全レース終了

■前日 受付

日 時：6月29日(土) 13:00～

場 所：三木里海水浴場特設会場（選手受付場所）

- ・提出物：健康チェックシート(各自でHPからダウンロード)
- ・配布物：AD カード

■公式練習

日 時：6月29日(土) 14:00～15:00 指定エリア（ライフセーバー指示に従う）

- ・公式練習の前に受付を済ませ、必ず AD カード持参のうえ「入退水」のチェックを受けること。
（但し、コース準備の進捗状況、気象状況等によっては予定を変更することがある）
 - ・**コース周回泳は時計回りとし、逆泳は禁止とする。**
- なお、ゴールエリア設営中につき、設営状況によっては使用できない場合もある。

■監督者会議（Zoom オンライン会議）

日 時：6月29日(土) 17:00 開始

- ・本会議はオンライン会議(Zoom)にて実施する。参加 URL、ミーティング ID、パスコードは、後日HP にアップ(6月24日掲載予定)
 - ・会議中参加者はミュートにて参加して下さい。(発言の際は ON にて発言)
 - ・監督者会議資料は、各自でHPからダウンロードし、事前に熟読しておくこと。
- ※なお、オンライン会議アプリ「Zoom」を使用予定の為、予め Zoom をインストールしておくこと。**

■大会当日 開場・選手受付（受付時間はスケジュール概要を参照）

場 所：三木里海水浴場特設会場（選手受付場所）

日 時：6月30日(日) 選手：7:15～開場

- ・提出物：健康チェックシート(各自でHPからダウンロード)
- ・配布物：本人確認し、AD カード発行・プログラムを配布する。
- ・ナンバリングは原則各自でおこなう。場所と向きに注意しながらマジックで書き込む。
一人で参加の選手は担当係員に相談すること。(※記入マジックは、実行委員会にて準備する。)
- ・受付にて競技で着用する水着(トライアル選手のみ)、ゴーグルのチェック、手足の爪チェック、装飾品(ジュエリー類)チェック、ナンバーチェックをおこなう。
- ・水着チェックの際は、着用していても持参しても構わない。Fina マークが見えるように提示すること。
(該当する選手は日本選手権トライアルの選手)

■招集 * 受付時間

- ・レース準備をし、AD カードを持参して招集を受ける。
- ・手足の爪の手入れをし、装飾品(ジュエリー類)を取り外してから招集を受ける。
- ・日本選手権トライアル選手以外は水着に Fina マーク無でもかまわない。ウエットスーツ着用も認める。
※初めて海を泳ぐ選手には、補助浮き具(セーフティバイ)の装着を認める。(希望者は受付時に申告)
- ・※トランスポンダーを1選手につき2つ配布する。招集までに両手首に装着すること。
(ビニールテープを使用する場合は各自で用意すること。)
- ・トランスポンダーを両腕手首に装着し、ナンバリングが消えてないか確認後、招集を受ける。
- ・審判長からの最終競技説明後、選手入場は、競技役員の指示に従いビーチ待機位置へ移動する。
- ・ビーチ入口「選手 AD デスク」に AD カードを置いてビーチ待機位置へ移動する。

- ・サンダルやセーム等の荷物をビーチ待機位置まで持っていく者は、選手個人袋もビーチまで持参する。
- ・ビーチではディスタンスを考慮し一人ずつ立ち、互いの距離を保って待機する。
- ・**マスク・サンダルを含めた全ての個人手荷物を選手個人袋に入れる。**
- ・選手個人袋(名前記入)に入れずにビーチに残された荷物は全て処分し、選手には返さない。

■大会当日 ウォームアップ

- ・招集・競技説明後、競技役員の指示に従い行う。

■スタート

- ・スタートラインは、水面に張られたロープにより示される。
- ・選手はスタートライン(ロープ)の前に位置し、後ろ手(片手)でロープを握り、フローティングで待機する。
- ・審判長のホイッスルの後、スターターのホーン(フラッグの振り下ろし)によりスタートする。

■ラップゲート

- ・ラップゲートを設置。ゴール以外の周回は必ず通過すること。

■リレー引き継ぎ

- ・後泳者はビーチ水際で待機し、前泳者はラップゲートを通過し、砂浜まで上がって後泳者に引き継ぐ。
(※リレー用トランスポンダーを片手に装着)

■フィニッシュおよび途中退水

- ・ゴールタッチ板にタッチした時点でフィニッシュとする。(手のひらで確実にタッチすること)
- ・タッチ板にタッチしなかった場合は、フィニッシュと認められない。
- ・フィニッシュした選手は必ずトランスポンダーを返却しなくてはならない。
- ・レース途中でトランスポンダーを紛失しても左右どちらかに1個のトランスポンダーが装着されていればフィニッシュと認める。トランスポンダー2個紛失の場合はフィニッシュと認めない。
- ・競技途中で退水(リタイア)をした場合は、必ず救護テントにて、医師の診察を受けること。
また、ADカードを持った競技役員が来るまで救護テントで待機し、トランスポンダーと引き換えにADカードを受け取ること。

■表彰

- ・表彰は、1位から3位に賞状・メダルを授与し表彰する。
- ・表彰式はおこなわない。ただし1位～3位はフォトセッションを予定。
- ・**男女それぞれ4位～8位入賞者に表彰状を授与する。**
- ・各競技終了後、大会本部にて各自で賞状を受け取る。(ADカードを持参すること)

■お願い

- ・ビーチクリーンは各自で随時行う。
- ・競技終了後は、飲み物容器やゴミ等は必ず持ち帰ること。
- ・応援はホイッスル、メガホン等の拡声機材は使えない。
- ・選手控え場所は十分に設置できないため、必要があれば簡易テント等を準備すること。
- ・駐車場については、別添資料 **P** ②～④を利用すること。(駐車許可証をHPからダウンロード)
※大会当日、地区のお祭りが開催されるため、**㊟**となっているエリアへの立ち入りは禁止とします。

■ 荒天時の対応

- ・競技実施については、天候状況により競技時間・距離・コースを変更して行うことがある。
- ・競技実施の可否および競技方法の変更等については、**当日朝 6:00**を目処に、OWS 三重オープン尾鷲ホームページ(各種 SNS も含む)にて通知する。
- ・上記以前に開催が難しいと判断した場合も、同じくホームページにて通知する。

■ その他

(1) OWS 競技の水着(日本選手権トライアル選手適用)

- ・(公財)日本水泳連盟「水泳競技会において着用又は携行することができる水泳用品、用具のロゴマーク等についての取扱規定」に準ずる。この基準はスイムキャップやゴーグルにも適用されるので、受付時に検査を受けること。

https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/rule/r_k16_20190310.pdf

- ・本年度の日本選手権参加授与書類は後日発送します。

(2) 安全について

- ・(公財)日本水泳連盟「OWS 競技に関する安全対策ガイドライン」に則り実施する。
https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/index/g_03.pdf
- ・(公財)日本ライフセービング協会から派遣されたライフセーバーが海上でガードする。
- ・棄権の場合は、大会本部に申し出ること。
- ・途中棄権の場合は、ライフセーバーに申し出てその指示に従うこと。
- ・緊急時には競技役員、係員の指示に従い避難すること。
- ・競技中、伴漕するライフセーバーに選手を先導する役割はない。なお、明らかなコースアウトと判断された場合には“善意の第三者”として方向修正等のアドバイスを行うことがある。

(3) 本大会中は、既設シャワーを利用する事ができる。

(4) 日本選手権トライアル選手のウエットスーツ着用規定は「OWS 競技規則」の第 7 条第 2 項・3 項のとおりとする。水温は参考値として、大会当日気温・海水温度測定を実施、競技前に通知する。

以上